

学校だより



2月 すくすくくすのき

平成31年 2月18日
阿武町立阿武小学校
11号

『心身の健やかな成長を願って ～体の栄養 心の栄養～』

3学期になって、あっという間に2月中旬を迎えました。地域の皆様、保護者の方も、もうしばらく寒い日が続きますが、お体に留意されて元気にお過ごしください。



さて、先日1月25日(金)第2回学校保健安全委員会を開催しました。今年度の学校保健委員会の取り組みテーマは「子どもが伸びる生活習慣づくりに向けて～望ましい生活習慣の定着をめざして～」となっています。

今回は、**相愛大学人文学部特別講師 中尾卓嗣先生**を講師にお迎えして「心身の健やかな成長を願って～体の栄養 心の栄養～」と題して、ご講演をいただきました。講演には、阿武小PTA保体部員や参加希望された保護者の方、みどり保育園保護者や教職員も出席しました。

午前中は、5・6年生を対象に『食べ物たんけん 元気発見 ～ワッハッ歯～』と題した授業をしていただきました。中尾先生は、通称「大根役者」芸名「うんこ博士」と名乗って、全国各地に出かけ、「**食と環境アドバイザー**」としてご活躍されています。授業は、カツラやめがね・白衣で変装した「うんこ博士」のアップテンポのパフォーマンスから始まりました。まず、本物の象のうんこ(糞)が提示されました。子どもたちは、初めて見る様々な動物の糞に驚いていました。象の歯は4つしかないが6回も生え替わることや、キリンは上の前歯がなく、上の歯茎がまな板の役割をしていることなど、子どもたちが興味のある話ばかりでした。動物は食べ物によって歯が違うということから、人間の歯の形から人間はどのような食事をしなければならないのか、噛むことが如何に大切かという話に繋がっていきました。ユーモアたっぷりの授業は、飽きることなく、あっという間に終わってしまいました。

また、午後は大人対象に講演をされました。先生は、「『考』という字を逆さまに紙に書いてください。」と、聴衆に指示を出されました。みんな、一生懸命に『考』の逆の形を考えながら書いていました。先生は、「難しいでしょう。でも・・・普通に『考』の字を書いて紙をひっくり返して逆にするか、自分が移動して、反対方向から字を見てもいいのですから・・・」つまり、「**見る位置を変えると見方が変わってくる。見方を変えれば、見えるものが変わってくる。自分が動くことによって状況も変わっていく。**」という先生のメッセージがあったわけです。ものを見たり考えたりする発想や見方を変えることの大切さを伝えていただいたのでした。また、「**もし、日本人全員が食後の茶碗に1粒のご飯粒を残したら、30kgの米袋87袋分の量になる。**」等の例を挙げて、**食べ物を大切にしなければならない**というメッセージなども伝えていただきました。中尾先生の豊富な体験や情報量の多さに驚きながら、貴重な話を聞かせていただきました。

切り取り

ご要望・ご意見欄

学校へのご要望・ご意見がございましたら、下記にご記入の上、切り取ってご提出ください。

学年または地区 () お名前 ()

学校生活アラカルト

3学期に入って、様々な行事や体験活動がありました。



1月24日(木)に「わくわく交流会」が町民センターで開催されました。本校のつばさ学級・ひまわり学級の7名が参加し、福賀小、多磨小、むつみ小の友だちと一緒に、カローリングやラダーゲッターのニュースポーツを親子で楽しみました。



1月9日(水)に書き初めの会を実施しました。冬休みに練習してきた習字を清書しました。気持ちを引き締めて真剣に取り組んでいました。



1月10日(木)に租税教室がありました。阿武町役場の宇佐川さんが6年生の子どもたちに「税金って何だろう?」の授業をされました。実際に、1億円模造紙幣を抱え、重さに驚きました。



2月6日(水)に阿武中学校の出前授業がありました。今回は、6年生が理科の火除教諭に「火山」の授業をしてもらいました。

コーラやラムネを使った火山の噴火の実験や小麦粉、きな粉などを使ったマグマの流出実験など、身近な材料を使用しての中学校教諭の専門性を生かした興味深い学習に、目を輝かせて取り組んでいました。

実際の授業を受けたり、中学校生活の体験などをさせていただいたりしながら、もうすぐ入学する中学校への期待感も高まります。



1月31日(木)に3年生が、梨ジャム作りの体験をしました。あぶホームメイドの方や町役場経済課の方のご協力によって貴重な体験をさせていただきました。3年生は、1学期の梨の袋かけ作業から継続してふるさとの特産の梨について学習をしてきました。